

昭和41年度臨時総会議題

GARP 計画の推進を日本学術会議に申入れる件について

国際科学連盟 (ICSU) 内に設けられている大気科学委員会 (Committee on Atmospheric Sciences) は、最近の大気科学に関する研究の急速な進展に伴い、去る4月ジュネーブで開かれた委員会で全地球大気の研究プログラム (Global Atmospheric Research Program) 略称 (GARP) を推進することをとりきめました。

上述の計画にしたがって、1972年には IGY 観測と同じように国際的な協同観測を行なうことになりました。さしあたり1972年に次の5項目が当面の研究課題としてとりあげられました。

1. 熱帯大気の研究、特に積雲対流と大規模な大気運動との相互作用
2. 地表、海面と大気の相互作用の研究
3. 全球的な大気放射の分布に関する研究
4. 大気大循環の研究、特に数値モデルの開発・改良
5. 新しい気象測器、技術の開発

(詳細は天気7月号 225~230参照)

このことについて、日本における研究の体制を整え、研究を推進するために、日本気象学会の総意に基づき GARP 計画の推進方を日本学術会議に申入れたたい。

「流体模型実験における相似律セミナー」要項

1. 期 日：昭和41年11月19日 (土) 9.15~17.15

2. 共 催 (順不同)：

日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会、同力学研究連絡委員会
(交渉中のものも含む) 土木学会、日本機械学会、造船協会、農業土木学会、航空学会、
気象学会、建築学会、物理学会、

3. 会 場：土木学会講堂 (東京都新宿区四谷1丁目、外濠公園入口)

4. 内 容：講演題目数：11、講演時間：35分 (20分+討論15分)

9.15~9.25	開会あいさつ				
9.25~10.00	(1)移動河床水理の相似律	名古屋大学教授	工学博士	足立昭平	
10.00~10.35	(2)非定常水流の相似律	中央大学教授	工学博士	林泰造	
10.40~11.15	(3)構造物に作用する風力の相似律	東北大学教授	工学博士	亀井勇	
11.15~11.50	(4)大気拡散の模型実験	気象研究所測器 研究部研究室長		根本茂	
11.50~12.25	(5)風洞実験における境界層遷移を 主眼とする相似	東京大学教授	工学博士	谷一郎	
13.30~14.05	(6)顕著な躍層分布を示す貯水池の 表層取水の相似律	農業土木試験場 水産土木部長	農学博士	出口判祐	
14.05~14.40	(7)浸透流の相似律	山形大学助手		吉田昭治	
14.40~15.15	(8)混相流の相似律	大阪大学教授	工学博士	植松時雄	
15.25~16.00	(9)ターボ型ポンプの性能換算の相 似律	東京大学教授	工学博士	白倉昌明	
16.00~16.35	(10)船の速力性能に関する相似律	大阪大学教授	工学博士	笹島秀雄	
16.35~17.10	(11)船の運動性能に関する相似律	三菱重工長崎研 究所船型試験場	工学博士	藤井斎	
17.10~17.15	閉会あいさつ				